



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 三浦工業株式会社
 コード番号 6005 URL <http://www.miuraz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 高橋 祐二
 (氏名) 野口 明彦

TEL 089-979-7010

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,441	8.9	3,621	11.2	4,306	13.4	2,182	13.1
23年3月期第3四半期	48,172	2.1	3,256	2.4	3,796	△6.3	1,929	△14.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,475百万円 (△6.5%) 23年3月期第3四半期 1,577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
24年3月期第3四半期	56.77		—	
23年3月期第3四半期	50.32		50.26	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
24年3月期第3四半期	97,719		80,912		82.8	2,104.63		
23年3月期	98,071		81,433		83.0	2,118.14		

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 80,900百万円 23年3月期 81,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
24年3月期	—	20.00	—		
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	74,000	9.0	5,800	13.8	6,500	11.0	4,000	30.5	104.06	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) MIURA MANUFACTURING AMERICA CO.,LTD. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	41,763,704 株	23年3月期	41,763,704 株
24年3月期3Q	3,324,133 株	23年3月期	3,324,400 株
24年3月期3Q	38,439,724 株	23年3月期3Q	38,339,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)のわが国経済は、東日本大震災後の不透明な状況を脱し、設備投資や個人消費が緩やかに回復してきましたが、海外経済の減速や長引く円高の影響を受けて生産や輸出が伸び悩むなど、景気は不安定な状態で推移しました。

このような状況の中でミウラグループは、全社一丸となって、東日本大震災で被災されたお客様の復旧に取り組みとともに、高効率ボイラーや熱エネルギー有効活用機器、省エネルギーシステムなどをグローバルに展開し、お客様が抱えられている問題の解決に取り組んでまいりました。また、今後も「熱・水・環境のベストパートナー」としてグローバルな成長を続けるため、メキシコでの現地法人設立に加え、米国内での新たな拠点展開やインドネシアでの新工場用地取得など、製造、販売・メンテナンス体制の再構築を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、小型ボイラーや水管ボイラーが増加し、メンテナンスも順調に推移したことにより、売上高は524億4千1百万円と前年同四半期(481億7千2百万円)と比べ8.9%増となりました。

利益面につきましては、増収効果により、営業利益は36億2千1百万円と前年同四半期(32億5千6百万円)と比べ11.2%増、経常利益は43億6百万円と前年同四半期(37億9千6百万円)と比べ13.4%増、四半期純利益は21億8千2百万円と前年同四半期(19億2千9百万円)と比べ13.1%増となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

[ボイラー等販売事業]

小型貫流ボイラー及び関連機器は、電力供給制限が懸念される中、省エネルギーや環境負荷低減に貢献する高効率の小型ボイラーやMI(多缶設置)システムなどを積極的に提案したことにより、食品、化学、鉄鋼・電機業界向けが好調に推移し、大幅な増収となりました。水処理装置は、ろ過装置や純水装置等が堅調に推移し、増収となり、ボイラー用薬品も、前年同四半期を上回る水準となりました。

この結果、当事業の売上高は254億1千9百万円と前年同四半期(216億7百万円)と比べ17.6%増となりました。

[水管ボイラー及び冷熱機器等販売事業]

水管ボイラーは、自家発電装置の需要拡大を背景に、熱エネルギーを有効活用する廃熱回収ボイラーが大幅に伸長し、熱媒ボイラーや船用補助ボイラーも増加したことにより、増収となりました。冷熱機器は、食品機械が前年同四半期の水準を上回りましたが、滅菌装置が低調に推移したことにより、減収となりました。環境事業は、PCB分析前処理装置等が減少したことにより、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は81億5千9百万円と前年同四半期(81億2千7百万円)と比べ0.4%増となりました。

[メンテナンス事業]

メンテナンスは、独自のメンテナンス体制を活かし、東日本大震災で被災された地域やお客様の復旧に全力で取り組み、お客様満足度の向上に努めました。また、引き続き「ベストパートナー戦略」を推進し、お客様への省エネルギー提案やサービス強化に取り組み、メンテナンス契約の受注確保に努めました。

この結果、ZMP(3年間有償保守管理)契約などが増加し、当事業の売上高は188億6千2百万円と前年同四半期(184億3千6百万円)と比べ2.3%増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億5千2百万円減少し、977億1千9百万円となりました。これは、棚卸資産や有形固定資産が増加したものの、有価証券や投資有価証券が減少したことなどによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ1億6千7百万円増加し、168億6百万円となりました。これは、賞与引当金が減少しましたが、未払費用や前受金が増加したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ5億2千万円減少し、809億1千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は82.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月2日に公表した通期の連結業績予想につきましては変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、MIURA MANUFACTURING AMERICA CO., LTD. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当社は当第3四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。なお、連結子会社は法定実効税率をベースとした簡便な方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,431	13,051
受取手形及び売掛金	18,387	18,737
リース債権及びリース投資資産	2,740	2,576
有価証券	14,703	11,673
商品及び製品	3,341	4,008
仕掛品	1,657	2,002
原材料及び貯蔵品	3,837	4,470
繰延税金資産	1,841	1,875
その他	759	565
貸倒引当金	△147	△144
流動資産合計	57,552	58,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,308	14,781
機械装置及び運搬具(純額)	2,015	2,315
土地	9,779	10,085
建設仮勘定	192	336
その他(純額)	978	966
有形固定資産合計	27,274	28,486
無形固定資産	554	554
投資その他の資産		
投資有価証券	10,408	7,912
その他	2,328	1,999
貸倒引当金	△46	△49
投資その他の資産合計	12,690	9,862
固定資産合計	40,519	38,903
資産合計	98,071	97,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,060	2,217
関係会社短期借入金	10	20
未払法人税等	1,226	734
前受金	5,252	6,065
製品保証引当金	417	455
賞与引当金	2,598	1,472
環境対策引当金	—	17
資産除去債務	—	12
その他	4,409	5,097
流動負債合計	15,973	16,094
固定負債		
繰延税金負債	25	25
退職給付引当金	91	120
役員退職慰労引当金	471	518
環境対策引当金	17	—
資産除去債務	12	—
その他	45	48
固定負債合計	665	712
負債合計	16,638	16,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,544	9,544
資本剰余金	10,088	10,088
利益剰余金	68,458	68,651
自己株式	△5,055	△5,055
株主資本合計	83,034	83,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△401
為替換算調整勘定	△1,271	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△1,614	△2,327
少数株主持分	13	11
純資産合計	81,433	80,912
負債純資産合計	98,071	97,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	48,172	52,441
売上原価	28,406	31,549
売上総利益	19,766	20,892
販売費及び一般管理費	16,509	17,270
営業利益	3,256	3,621
営業外収益		
受取利息	130	118
受取賃貸料	283	286
受取配当金	133	130
その他	189	317
営業外収益合計	737	852
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	186	157
その他	11	10
営業外費用合計	197	167
経常利益	3,796	4,306
特別利益		
固定資産売却益	9	4
投資有価証券売却益	—	0
受取和解金	—	47
貸倒引当金戻入額	13	—
特別利益合計	22	52
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	38
投資有価証券売却損	—	185
投資有価証券評価損	258	33
前期損益修正損	17	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	—
特別損失合計	297	258
税金等調整前四半期純利益	3,521	4,100
法人税等	1,594	1,916
少数株主損益調整前四半期純利益	1,927	2,184
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	1
四半期純利益	1,929	2,182

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,927	2,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△217	△58
為替換算調整勘定	△131	△650
その他の包括利益合計	△349	△708
四半期包括利益	1,577	1,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,578	1,470
少数株主に係る四半期包括利益	△0	5

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ボイラー等 販売事業	水管ボイラー 及び冷熱機器 等販売事業	メンテナンス 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	21,607	8,127	18,436	48,172	—	48,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,675	333	—	2,008	△2,008	—
計	23,282	8,460	18,436	50,180	△2,008	48,172
セグメント利益又は損失(△)	△680	1,229	5,301	5,851	△2,594	3,256

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ボイラー等 販売事業	水管ボイラー 及び冷熱機器 等販売事業	メンテナンス 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	25,419	8,159	18,862	52,441	—	52,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,605	425	—	2,031	△2,031	—
計	27,024	8,585	18,862	54,472	△2,031	52,441
セグメント利益又は損失(△)	△38	878	5,175	6,016	△2,395	3,621

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用となっております。
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。